自己評価（前年度）

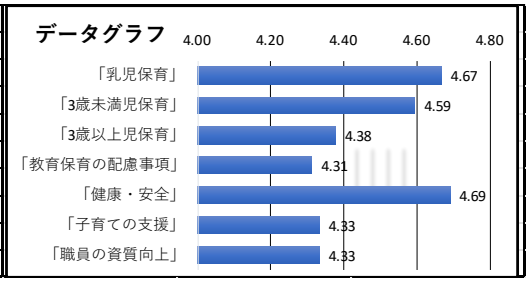
※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

データ分析表

データ表

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.67
「3歳未満児保育」	32	4.59
「3歳以上児保育」	53	4.38
「教育保育の配慮事項」	16	4.31
「健康・安全」	29	4.69
「子育ての支援」	18	4.33
「職員の資質向上」	9	4.33
計	172	4.48



総合評価

個性豊かな子どもたちの姿に寄り添いながら、一人ひとりがその子らしさを発揮し、互いの良さに気付き会えるよう、職員同士で努力を重ねてきた。

又、新年度初めは、お互いに意思疎通がうまくいかない事があったが、苦手部分を補いあい関わる中で次第に信頼関係が築くことができた。

今後も、互いに支え合う姿勢を大切にしチームとしての保育の質の向上に努めていきたい。

事業計画（今年度の重点目標）

項　　目	内　　容
災害対策	非常災害に対する個別の計画を整備し、それに基づく実効性ある訓練の実施 ・リスク委員を主体とし、実際に BCP に沿った訓練を実施し振り返りを行う
保護者等のニーズの把握・理解	保護者や家族の声を聞き満足度を把握し、職員参加の下、保育・介護・障害福祉サービス改善の取り組みを推進 ・保護者に来ていただく行事毎にアンケートを実施し公表する
施設の地域への開放と活用	「地域共生社会の実現」につながるコミュニティ強化を目的に施設開放・活用・イベントの開催等の地域に開かれた取り組みの積極的な実践 ・保育サービス（キッズサークル）開催など掲示板に掲示したり、地域のコミュニティを活用し発信をしていく